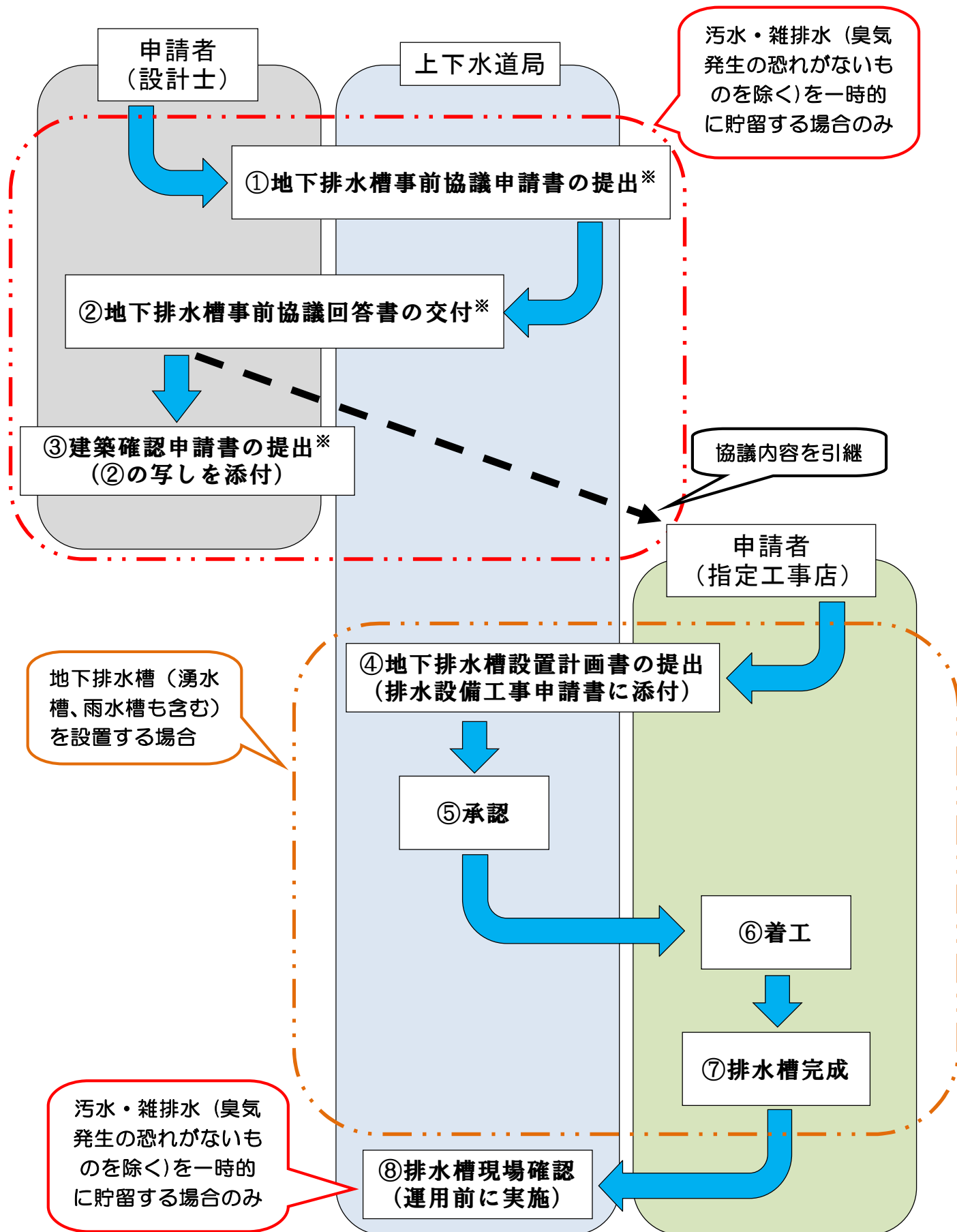


地下排水槽設置計画の手引き

令和 3 年 4 月 1 日

名古屋市上下水道局

1. 地下排水槽設置に関する手続きの流れ



※ 令和2年10月1日以降に建築確認申請を行うものについて実施する

2. 地下排水槽の設置上の留意項目

【1】排水槽の配置計画

- ・自然流下が可能な排水は、排水槽には流入させない。
- ・汚水、雑排水、湧水及び雨水は各々分離した排水槽とする。
- ・住居等で排水量が少ない場合は汚水と雑排水の混合（合併槽）も可とするが、飲食店等で大量のちゅう房排水が出る場合等は汚水と雑排水は混合させない。
- ・排水槽は、槽内の点検や清掃等の維持管理が容易に行うことができる場所に設置する。

【2】排水槽の有効容量等

- ・排水槽の有効容量は次式により算出される範囲内とする。
有効容量(m³) = 時間平均排出量(m³/h) × 2.0～2.5
- ・時間平均排出量は「排水槽に流入する箇所の1日平均排出量」を「排水槽に流入する箇所の1日当たり給水時間」で除した排出量とする。
- ・1日平均排出量は、建物の使用人員や用途別床面積、衛生器具の配置計画等から適正な排水量を算出する。

【3】排水槽の構造

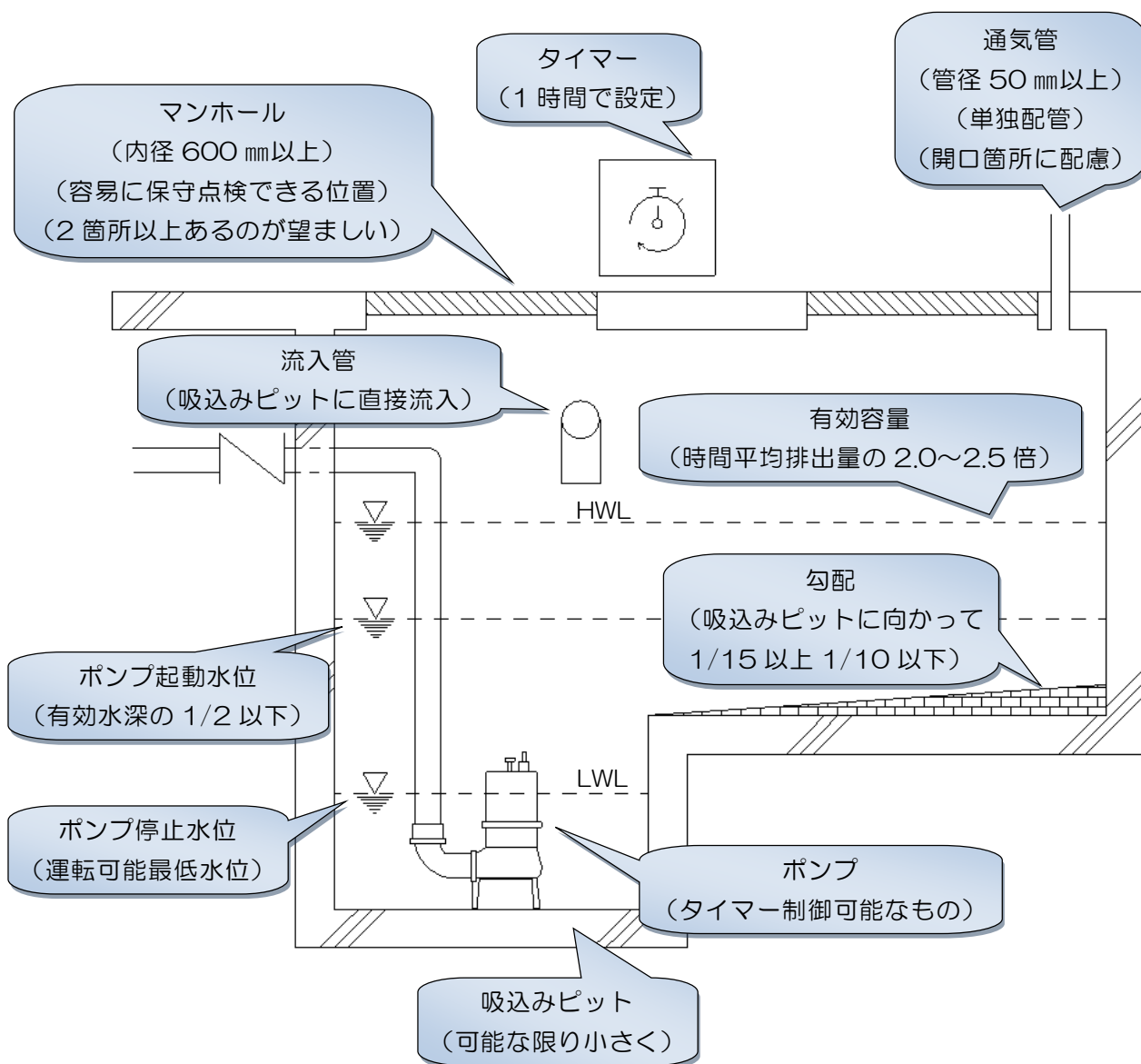
- ・排水槽は通気管以外から臭気が漏れない構造とし、内部は水密性、防食等を考慮したものとする。
- ・排水槽の底部には吸込みピットを設け、吸込みピットに向かって1/15以上1/10以下の勾配をつける。
- ・排水槽の高さは有効水深の1.5～2倍程度とし、吸込みピットの大きさはポンプ吸込み部の周囲に200mm程度の間隔をもたせた上で、ポンプの運転に支障がない範囲で最小限とする。
- ・汚泥の付着を防止するため、排水槽及び吸込みピットの側壁の隅角部に有効なハンチを設ける。
- ・汚物飛散防止のため、排水槽への流入管は吸込みピットに直接流入するように設ける。
- ・排水槽内部を容易に保守点検できる位置にマンホールを設け、その大きさは内径600mm以上とする。また、槽内作業時の換気を確保するために、マンホールは2箇所以上設けるのが望ましい。
- ・排水槽には管径50mm以上の通気管を、他の排水系統の通気管に接続することなく単独で設ける。なお、開口箇所には衛生上十分な配慮をする。

【4】ポンプの運転

- ・悪臭発生が想定される汚水槽、雑排水槽及び合併槽は、水位及びタイマー制御が行える設備を標準とする。
- ・ポンプの停止水位はポンプの運転が可能な最低水位に、起動水位は有効水深の1/2以下に設定する。またタイマー運転を併用し、ポンプの運転間隔が1時間程度となるように設定する。
- ・ポンプの設置台数は原則2台以上とし、通常時は交互に運転できるようにするとともに、排水量の急増時には同時運転が可能な設備とする。

【5】その他

- ・悪臭の発生が想定される場合は、曝気装置の設置を検討する。
- ・設備の故障や水位異常等を確認できるように警報装置を設置し、制御盤等は浸水しないよう配慮する。
- ・ちゅう房排水等で阻集器を設置する場合は、排水槽へ流入する前で設置する。



3. 地下排水槽事前協議申請書について

汚水・雑排水（臭気発生の恐れがないものを除く）を一時的に貯留する場合は、「地下排水槽の構造及び維持管理等に関する要綱」に基づき、「地下排水槽事前協議申請書（第1号様式）」及び必要書類を2部、上下水道局給排水設備課に提出する。また、提出にあたっては以下の点に留意する。

【1】地下排水槽事前協議申請書（第1号様式）

- ・ 建築確認申請を要する場合は建築確認申請より前に、建築確認申請を要しない場合は排水設備工事調書を提出する前に、地下排水槽事前協議申請書を提出する。
- ・ 記入例を参照。
- ・ 湧水槽、雨水槽がある場合も地下排水槽計画概要を記入する。
- ・ 同種の排水槽が複数ある場合は排水槽毎に番号を付し、他の添付書類と整合させる。
- ・ 排水槽が5つ以上ある場合は地下排水槽計画概要欄に【別紙地下排水槽一覧表のとおり】と記載し、「地下排水槽一覧表（第2号様式）」を使用する。

【2】建築物の位置図

- ・ 計画場所が容易に分かる地図を使用し、方位を記入する。

【3】建築物の平面図及び排水系統図

- ・ 平面図及び系統図は排水槽を使用する衛生器具から公共下水道に接続するまでの系統が分かるものとする。
- ・ 排水槽への流入管・排水槽の位置及び排水槽からの圧送管を排水槽の種類毎に色付けする。
- ・ 同種の排水槽が複数ある場合は排水槽毎に番号を付し、他の添付書類と整合させる。

【4】地下排水槽の容量計算書

- ・ 1日平均排出量・給水時間・有効容量・槽の大きさを排水槽毎に計算する。
- ・ 1日平均排出量の算出根拠（衛生器具毎の排水量や人員若しくは面積当たりの排出量等）を添付する。
- ・ 臭気発生の恐れがない雑排水槽・湧水槽・雨水槽については、容量計算書の提出は省略できる。

【5】地下排水槽の構造図

- ・平面図には排水槽及び吸込みピットの寸法を記載する。
- ・断面図には排水槽及び吸込みピットの高さ、有効水深、ポンプの起動及び停止水位、流入管・吐出管・通気管の位置を記載する。
- ・臭気発生の恐れがない雑排水槽・湧水槽・雨水槽については、構造図の提出は省略できる。

【6】排水ポンプの資料

- ・排水ポンプの仕様が分かるものを添付する。
- ・臭気発生の恐れがない雑排水槽・湧水槽・雨水槽については、排水ポンプの資料の提出は省略できる。

【7】その他

- ・事前協議後に内容が変更となった場合は、上下水道局給排水設備課と再度協議する。

4. 地下排水槽設置計画書について

地下排水槽（湧水槽、雨水槽も含む）を設置する場合は、「地下排水槽の構造及び維持管理等に関する要綱」に基づき、排水設備工事調書に「地下排水槽設置計画書（第4号様式）」、「地下排水槽設置計画一覧表（第5号様式）」及び必要書類を添付し、上下水道局の審査担当課公所に提出する。ただし、臭気発生の恐れがない排水槽のみ設置する場合は、「地下排水槽設置計画書（第4号様式）」のみ提出を省略することができる。

5. 地下排水槽の維持管理について

- ・「給排水設備の構造と維持管理に関する基準及び指導要綱」及び関係法令を遵守する。
- ・清掃時に発生する汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づき適正に処理するものとし、公共下水道に投棄してはならない。
- ・排水槽に関する図面（配管図、構造図等）及び保守点検記録等を整理しておく。

6. 地下排水槽の改善について

地下排水槽に起因して臭気が発生した場合は、上下水道局からの指導に従い、地下排水槽の改善に努める。

地下排水槽事前協議申請書

(あて先)
名古屋市上下水道局長

申請者 住所 〇〇市〇〇町〇〇ー〇〇
氏名 〇〇 〇〇

下記のとおり地下排水槽を設置しますので、地下排水槽の構造及び維持管理等に関する要綱第4条に定める事前協議を申請します。

協議 担当者	住所 △△市△△町△△ー△△			
	氏名 △△ △△		電話 △△-△△△△-△△△△	
計画場所	〇〇区〇〇町〇〇ー〇〇			
建物名称	(仮称) 〇〇計画		建築用途	飲食店
	施工予定	着手	令和〇〇年〇〇月〇〇日	完成
令和〇〇年△△月△△日				
地下排水槽計画概要				
排水槽の種類	汚水槽	雑排水槽①	雑排水槽② (冷却水)	湧水槽
有効容量(m³)	1.0	4.8	1.0	15.0
有効水深(m)	0.5	0.6	0.5	0.5
排水槽の大きさ 幅×長さ×高さ(m)	1.0×2.0×1.0	2.0×4.0×1.0	1.0×2.0×1.0	1.0×1.0×1.0 (釜場)
ポンプ制御方法	タイマー併用	タイマー併用	水位設定	水位設定
ポンプ能力 口径×吐出量×揚程×電力	65φ×200L/min ×15m×3.7kw	65φ×200L/min ×15m×3.7kw	50φ×100L/min ×15m×0.75kw	50φ×100L/min ×15m×0.75kw
添付図書	<input checked="" type="checkbox"/> 位置図 <input type="checkbox"/> 地下排水槽一覧表 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図及び系統図 <input checked="" type="checkbox"/> 地下排水槽の容量計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 地下排水槽の構造図(ポンプ起動・停止水位が分かるもの) <input checked="" type="checkbox"/> 地下排水ポンプの資料 <input type="checkbox"/> その他()			

※申請者は、確認申請書第一面に記載する申請者氏名と合わせて下さい。

※上記の太枠欄に記載してください。

<排水設備の設計・施工に関する留意事項>

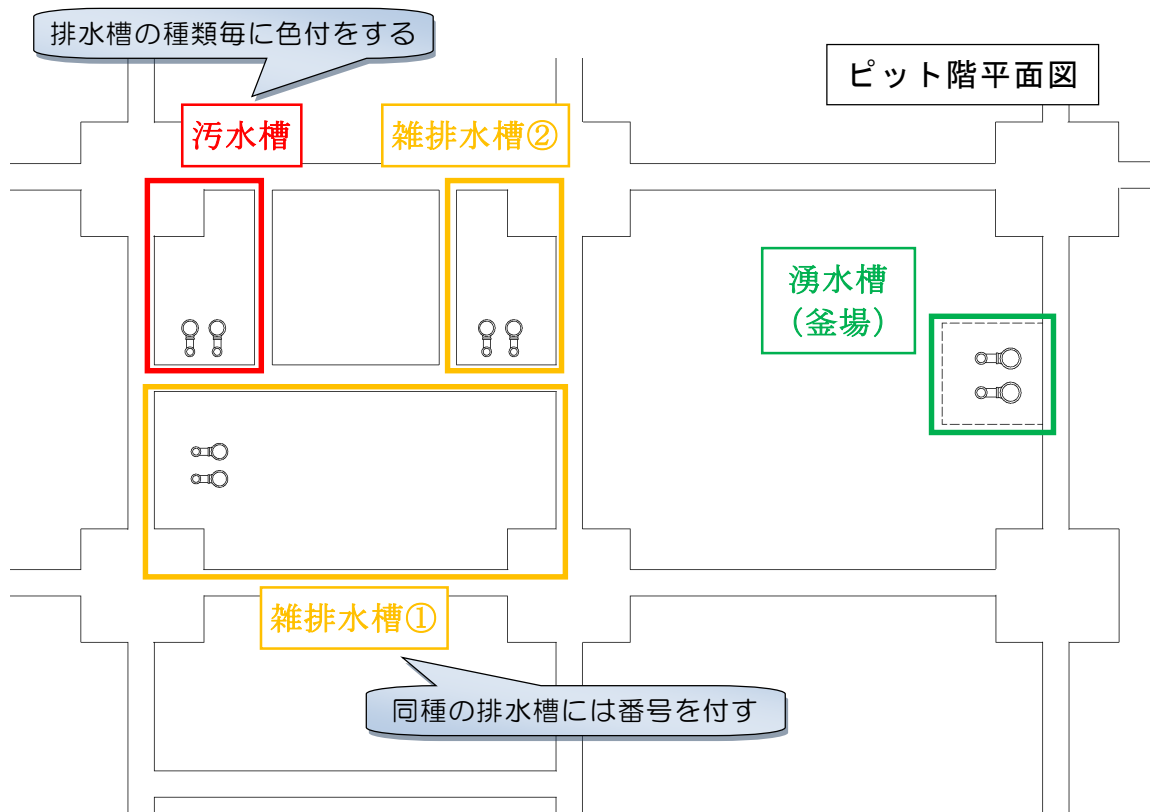
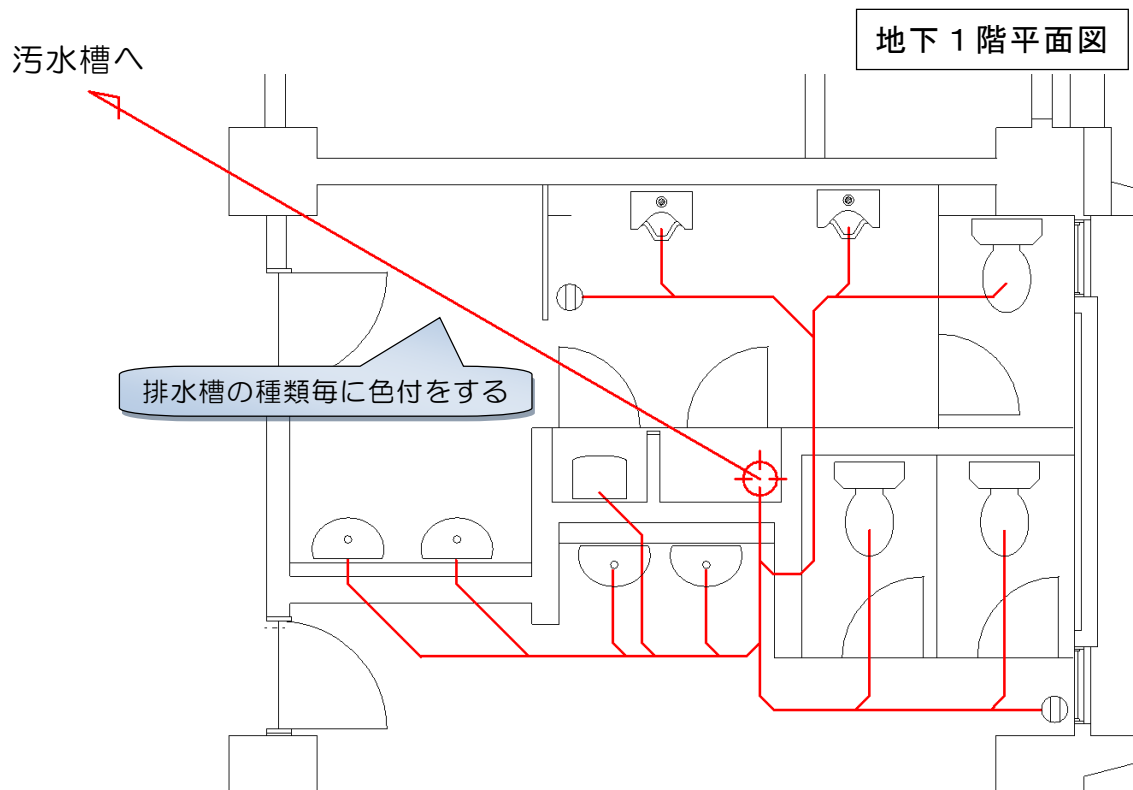
○排水設備の設置にあたっては、下水道法や排水設備要覧のほか、関係法令等を遵守してください。

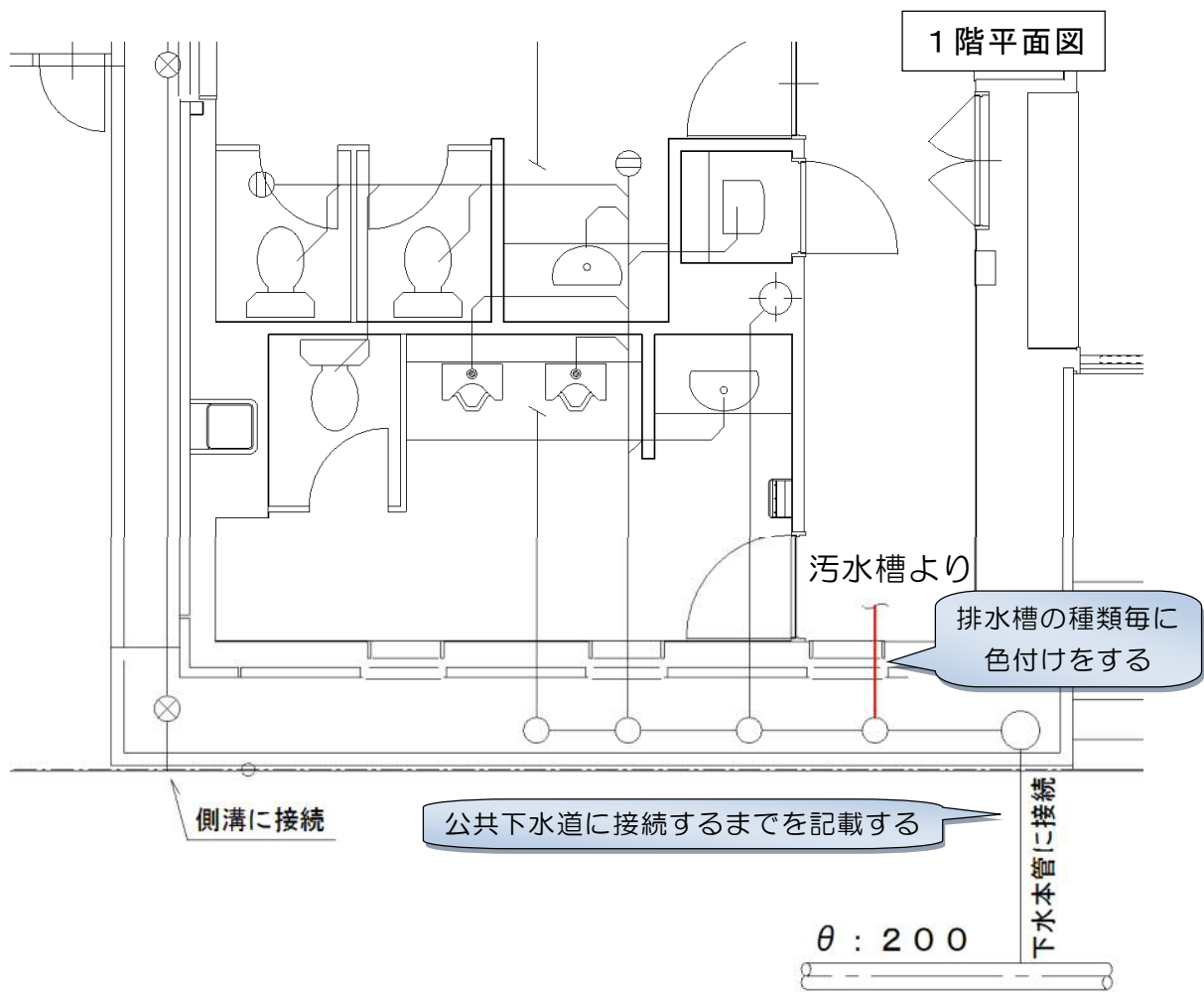
○名古屋市では、河川整備と下水道整備の連携を図りつつ、全市域を対象に1時間約50ミリの降雨に対応する施設整備を行っています。必要に応じて雨水流出抑制を検討してください。

○建物の構造が、地下又は半地下構造となる場合や宅地が道路より低い場合は、下水道本管からの下水の逆流及び道路面からの侵入水への対策を検討してください。

○取付管の新設が必要な場合、公道部の地下埋設物等が支障とならないように、宅地内の取付ます深さ及び取付位置を検討してください。

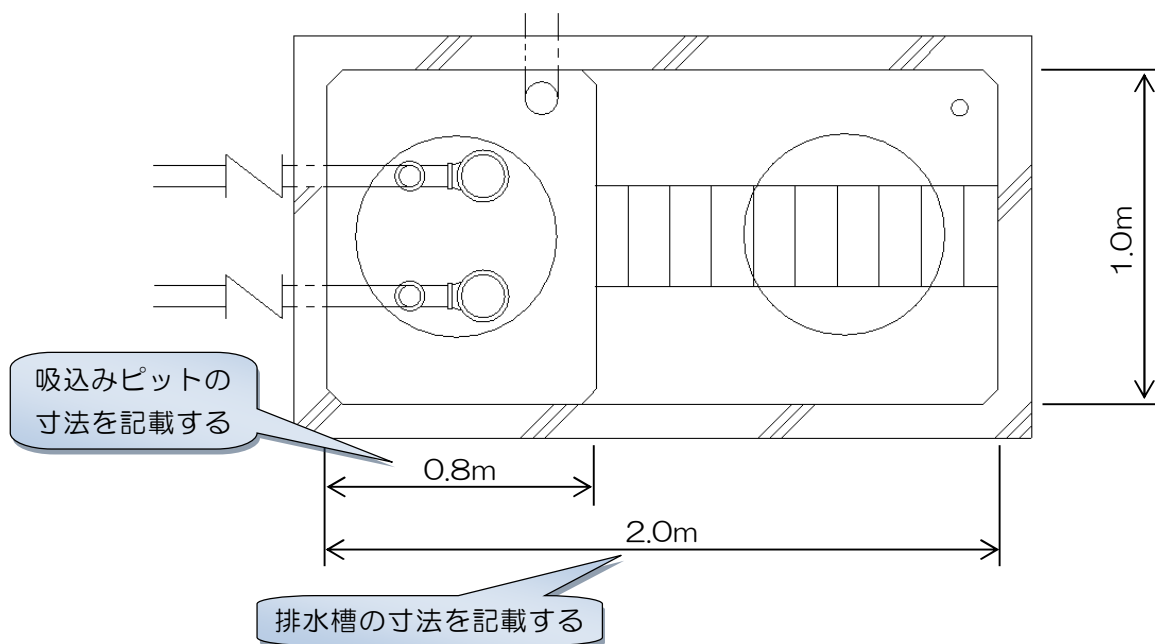
平面図及び系統図（例）



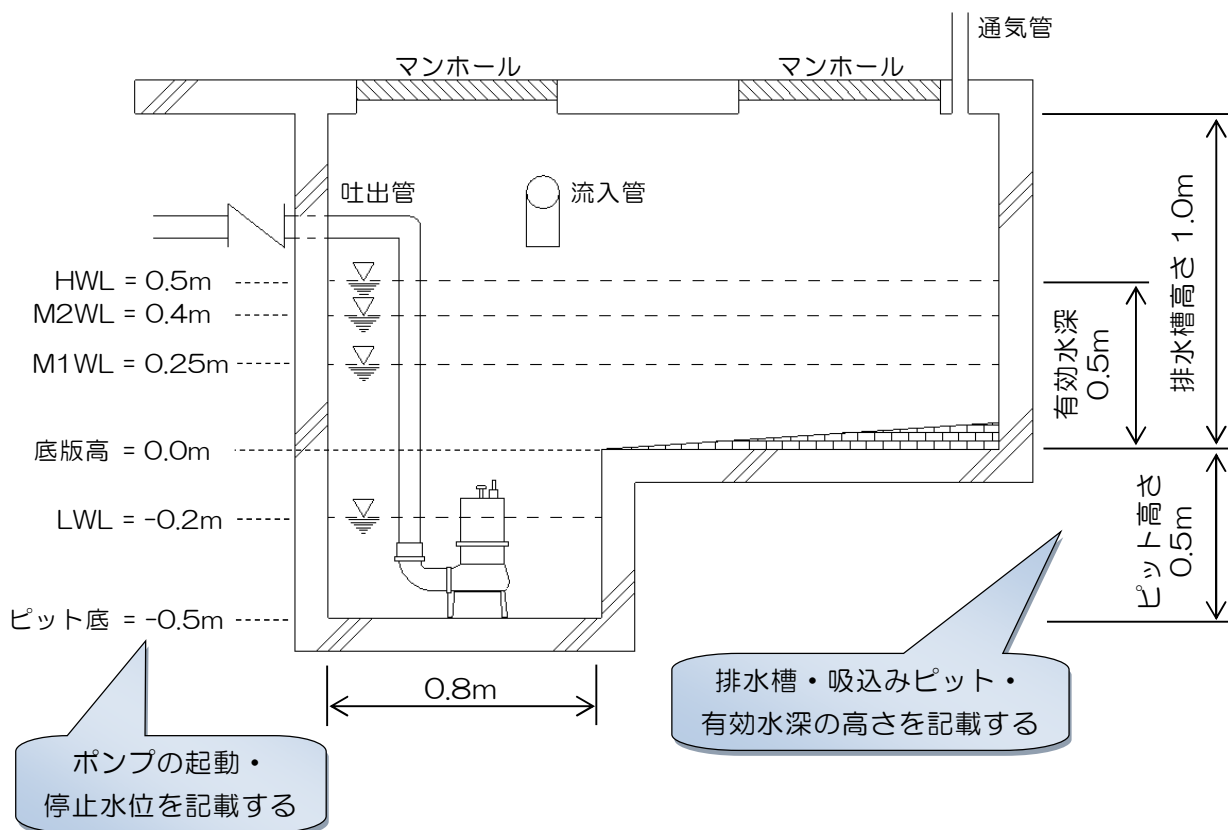


地下排水槽の構造図（例）

平面図（汚水槽）



断面図（汚水槽）



(第4号様式)

記入例

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先)
名古屋市上下水道局長

申請者 住所 〇〇市〇〇町〇〇—〇〇
氏名 〇〇 〇〇

地下排水槽設置計画書

排水設備築造工事等の承認申請に関し、地下排水槽の設置計画を下記のように届け出ます。

記

- | | |
|---------|--|
| 1. 計画場所 | 〇〇区〇〇町〇〇—〇〇 |
| 2. 建物名称 | (仮称) 〇〇計画 |
| 3. 建物用途 | 飲食店 |
| 4. 完成時期 | 令和〇〇年△△月△△日 |
| 5. 計画内容 | 地下排水槽設置計画一覧表の通り |
| 6. 添付書類 | 地下排水槽設置計画一覧表
地下排水槽の容量計算書
地下排水槽の構造図(ポンプ起動・停止水位が分かるもの)
ポンプ運転フロー図
地下排水槽事前協議回答書の写し
その他() |

誓 約 事 項

- ①「地下排水槽の構造及び維持管理等に関する要綱」を遵守し、地下排水槽の適正な維持管理に努めます。
- ②地下排水槽の構造や排水ポンプの運転、清掃等について改善の指導があった場合は、当方が責任を持って対応します。

記入例

(第5号様式)

地下排水槽設置計画一覧表

水栓番号	第 ○○○○○号		表番号	受 付
			1/1	No.
計画場所	○○区○○町○○-○○			
建物管理者	住所 ××市××町××-××	氏名 ×× ××		
地下排水槽 維持管理者	住所 △△市△△町△△-△△	氏名 株式会社 △△△△		
排水槽の種類	汚水槽	雑排水槽①	雑排水槽② (冷却水)	湧水槽
時間平均排水量 (m ³ /h) ①	0.5	2.4	0.5	/
有効容量(m ³) ①×2.0~2.5	1.0	4.8	1.0	15.0
有効水深(m)	0.5	0.6	0.5	0.5
排水槽の大きさ 幅×長さ×高さ(m)	1.0×2.0×1.0	2.0×4.0×1.0	1.0×2.0×1.0	1.0×1.0×1.0 (釜場)
排水ポンプ台数	2	2	2	2
ポンプ制御方法	タイマー併用	タイマー併用	水位設定	水位設定
ポンプ能力 口径×吐出量×揚程×電力	65φ×200L/min× 15m×3.7kw	65φ×200L/min× 15m×3.7kw	50φ×100L/min× 15m×0.75kw	50φ×100L/min× 15m×0.75kw
清掃回数 (回/年)	2	2	2	2
<p>臭気の発散により生活環境の保全上支障が生じないようにするための措置</p> <p>例) 汚水槽・雑排水槽①は、ポンプの停止水位を運転可能最低水位に、起動水位を有効水深の半分に設定し、タイマー運転(1時間に設定)を併用する。</p>				

※上記の太枠欄を記載してください。

排水ポンプ運転フロー図 (例)

